

2024 年度 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 事業計画書

I 会員の育成と活動の促進

(1)大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ① 大会ボランティア参加意向アンケートを上期下期の年 2 回の郵送に加えて、年度途中の大会ボランティア参加意向アンケートや追加募集はメールを活用して実施する。
- ② 川崎市障害者スポーツ協会と協力して大会ボランティア参加意向アンケートの結果を共有し、会員への連絡を徹底する。また、大会実施要領を事前配布する。
- ③ 市内団体への継続的な会員の参加を目的として、ボランティアスタッフ一覧を更新して配布する。
- ④ 会員の活動状況の把握と派遣先のマッチング及び情報提供を継続する。
- ⑤ 会員の大会・イベント参加意欲向上を図るため、初級パラスポーツ指導者養成講習会の場において、指導者協議会の取組みについてPRするとともに、参加しやすい環境作りに取り組む。
- ⑥ 会員の大会・イベント参加意欲向上を図るため、大会ボランティア参加等が多い会員に対し、表彰を実施する。なお、若年層の一層の活動促進を促すため、若年層を対象とした表彰を設ける。
- ⑦ ユニフォームを引続き作製して、会員へ周知する。

(2)広報活動の促進

- ① 指導者協議会名称変更に伴い、会員や障害者団体等へ周知する。
- ② 会員に対し、協議会ニュースを年 2 回以上発行する。また、会員以外の障害者団体等にも協議会ニュースを送付する。
- ③ ホームページを定期的に更新して、会員が必要な情報等を掲載する。
- ④ 会員に対し、関連する情報を収集して情報提供する。
- ⑤ メールアドレスを登録されている会員に対し、日本パラスポーツ協会等からの情報をタイムリーに情報提供する。なお、会員にメールアドレスを登録するよう引続き依頼する。

(3)他機関連携等

- ① 会員拡充のため、川崎市の依頼により初級パラスポーツ指導者養成講習会に講師を派遣する。
- ② 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施する。
- ③ 日本パラスポーツ協会、関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会及び川崎市障害者

スポーツ協会と連携し、委員派遣等に協力する。

- ④ 理学療法士、スポーツ推進委員、スポーツ団体及び大学と連携して会員の拡充を図るとともに、パラスポーツの普及を促進する。
- ⑤ 令和7年度助成金受託に向けて、日本パラスポーツ協会の「地域におけるパラスポーツ振興事業」を検討する。

2 研修会等の実施

(1) 研修会等の実施

- ① 会員のスキル維持・向上・養成を図るため、会員の意向が確認できるようアンケート等を実施し、ニーズに基づいた講習会や教室を開催する。
- ② 競技審判員の育成を実施する。
- ③ パラスポーツ指導者全国研修(12/14・15 東京開催)が成功するよう関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会と連携を図るとともに研修に会員を派遣する。
- ④ 2025 デフリンピックに向けて研修会(手話講習会など)を実施する。
- ⑤ 川崎市市政100周年記念に併せた事業を企画する。

(2) 交流会

- ① 会員の交流とスキルアップを目的に、会員交流会を企画する。

3 パラスポーツの普及と選手育成及び強化

(1) 選手育成及び強化

- ① 全国障害者スポーツ大会(佐賀大会)及び強化練習への会員を派遣する。

(2) スポーツ教室及びレクリエーション教室等の開催

- ① スポーツ教室及びレクリエーション教室等の開催に協力し、指導や助言等を実施する。
- ② 地域における各種イベントへの積極的な参加、指導者の派遣及び各種イベント等に協力する。

(3) 市内外における団体への会員派遣を継続する。

以上